

9 あいちの交通

5人は、お休みの日に先生の運転する車に乗って、取材に行くところです。まどの外を見ながら、ものしりのじゅんさんが言いました。



愛知県の人々は、日本一、自動車をたくさん持っているんだって。さすが自動車産業がさかんなところだね。

人やものをほかの場所へいち早く、安全に運ぶことが大切だわ。愛知県の交通がどのように発達していったのか、わたしが調べるわ。



愛知県は日本のまん中で、日本の東と西とを結ぶ大切な地いきです。

そして、ほかの地いきの良いものを取り入れたりして、いろいろな産業がさかえ、わたしたちのくらしがゆたかになっていきました。

江戸時代になって、東海道などの大きな街道がととのえられると、この地方の名物や話題が広まるようになりました。

このお店で「有松絞」を売っているのが見えるかな？



200年前の東海道（鳴海宿）
このころは、東海道をあるいたりかごにのりたりして旅をしました。

東海道広重美術館所蔵

そして、今の道路のようすは…



おとなりの岐阜県や三重県、静岡県、長野県にのびた高速道路や国道などを使って、産業や文化などの交流が深まっています。

【さらに海・空をつかって世界へ！】

名古屋港は、輸出入総額が全国1位の、日本を代表する港。大きな船が出入りして、外国とゆききしています。世界の大きな港に負けない港をつくらうとがんばっています。

平成17年2月にできた中部国際空港は、国際線と国内線が同じフロアにあって便利です。海外旅行者や貨物をたくさんせて、今日も世界の空港へ飛びたちます。

海

世界150の国や地いきと結ばれています。

空

世界の31都市と結ばれています。

あいちの交通のことなら、次のホームページにくわしくのっているから調べてみよう。
<http://www.pref.aichi.jp/kotsu/> <http://www.pref.aichi.jp/kouku/> <http://www.pref.aichi.jp/kowan/>